

# デザインの記憶展

## 意図

私は、人の記憶というものは、その時の感じた思いや感情が詰まっているほかの誰にも干渉されないその人個人だけの大切なものだと思います。しかし、記憶は薄れていきなかなか覚え続けることが難しいものです。そこで私はこの覚えていられずに忘れられかけて消えそうな記憶を、掘り起こすための手がかりとなるものを見て、感じて、体感して思い出して記憶が息を吹き返す為のきっかけをつくりたいと考えました。

この記憶というものはありとあらゆるものに存在していますが、中でもアートや生活用品、映画、映像、ファッションさらには音楽、漫画、アニメ等文化などのその時に流行していたものや時代を表すものやことに存在していると思います。これはどの地域、時代に生きている人でも共通していると考えています。

さらにこういった流行のもの、とりわけメディアデザインと分類されるもののような一時的なアートやデザインは、データとしてだけインターネットなどに間接的に残っている事が多く、直接そのもの残していく事が難しいです。そのためこういったもの達を未来へ直接残していく為の、アーカイブとしての役割が必要だと強く感じました。

「記憶」と「アーカイブ」。この似て非なる二つを繋ぎ合わせて、この「デザインの記憶展」という企画を考えました。

過去と触れ合い、来場してくれた方にとって自分と自分の記憶を見つめ直す為の良い機会になり自分の過ごした記憶の大切さを感じてもらいたいです。

## 内容

この「デザインの記憶展」は常設展示と企画展示の二形態からなります。

常設展示は一年ごとにその年の様々な事を取り出してその年に生まれたアート、デザイン、映画、音楽、写真、漫画、ファッション、ヒット商品、そしてプロジェクションマッピングなどの体感型の映像等が説明と共に閲覧や体験することが出来ます。メディアデザインのアーカイブとしてその中でもCGや映像などを多種類に渡って閲覧できるようにしようと考えています。

この展示は基本的には1～2人で楽しむ少人数用のものです。ゆっくりと思い出に浸る為に展示場は箱型の部屋になっています。

展示場内ではタッチパネル式の液晶ディスプレイの壁で操作が出来ます。操作が苦手な方には音声認証システムでタッチパネルの代わりに操作ができるように設定されています。

まず最初に自分の見たい西暦年を選択します。対象年を選ぶと世界地図が出てきます。その世界地図の色がついている一部の国が閲覧可能です。現時点ではアメリカ、フランス、イギリス、イタリア、日本のアートやデザインが盛んな主要の五カ国を閲覧できます。閲覧する国を選んだらアート、映画、音楽、漫画、ファッション、ヒット商品、映像の項目に分かれます。そうしてジャンルごとに移動していく順になっています。また、最初に項目を選択してから気になる対象年を選ぶという順でも閲覧する事が出来ます。

アートの項目ではその年に発表されたアート作品やその年に企画された主要な美術館、博物館等の展示についてがデジタルメディアで閲覧できます。気になったものはタッチパネルで選択すると、そのアート作品の作者や作品についての説明等が見られます。見たい展示を選ぶとサムネイル、詳細を見る事が出来ます。

映画の項目ではその年の上映されたもののなかからヒットした映画が優先的に出てきて液晶ディスプレイで鑑賞する事ができ、さらに映画のジャンルごとに分けられます。

音楽の項目ではその年のヒットソングを中心に聞く事ができまたジャンル順、ヒット順、アーティスト順、リリース順に分けることもできます。

企画展示は、ある1年だけに焦点当ててその年に流行していたものや、その1年を表す様々なもの「もの」や「こと」を実際に展示していく実物展示です。

展示場内ではアート、デザイン、写真、漫画、ファッション、ヒット商品などが当時のままの姿で鑑賞することができます。こちらはとりわけその年にデザインされた商品や、ポスターなどを多く展示し、当時を思い出しながら見る事ができるようにしようと考えています。

アートは絵画や彫刻などのその年に発表されたものの中で展示が可能なアート作品が作者、作品についての解説とともに鑑賞することができます。

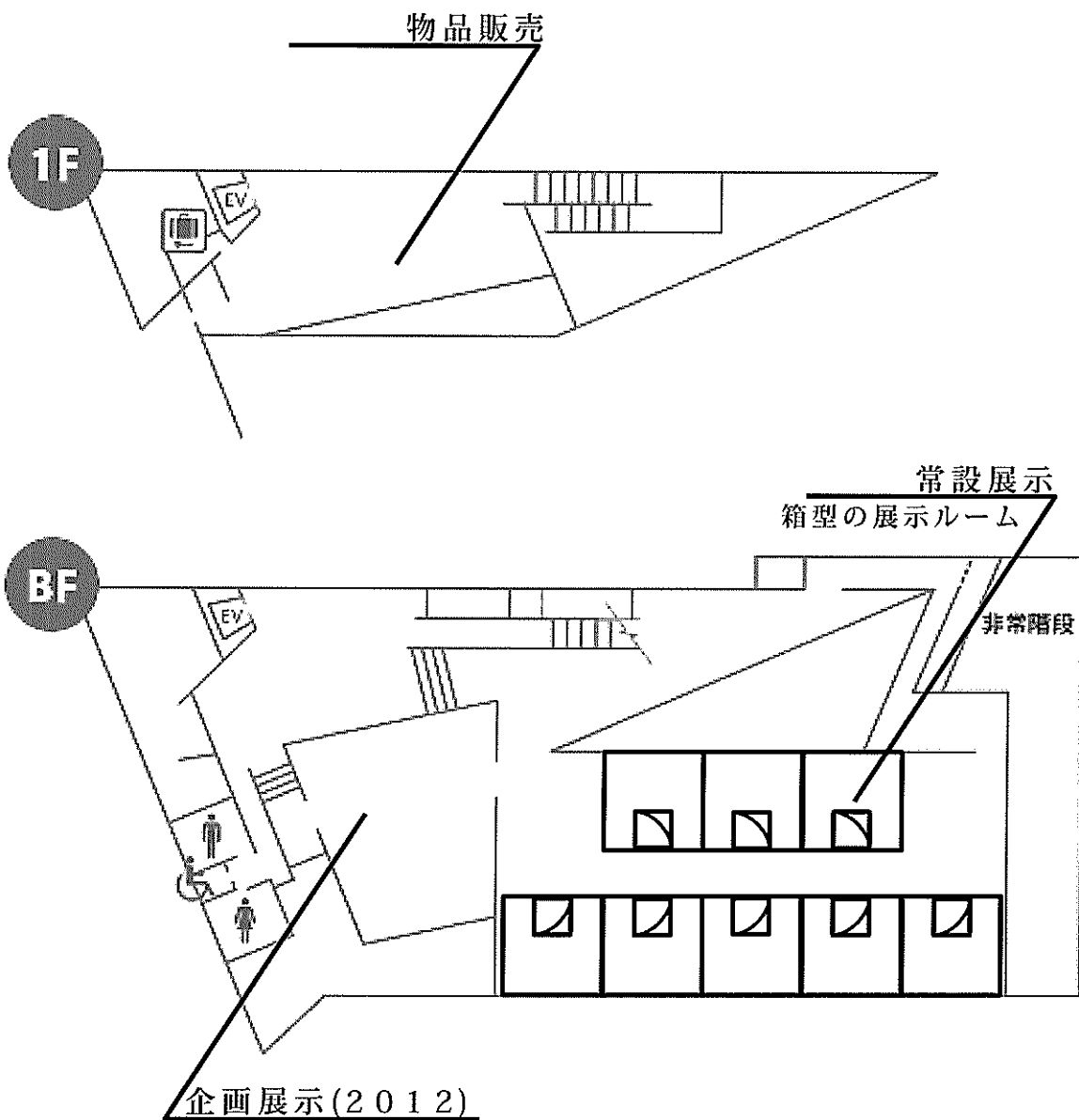
デザインはその年に販売されたデザインされた生活用品や、ポスター、建築物のミニチュアモデルなどを作者、使用目的、商品の当時の使われ方などの解説とともに鑑賞することができます。

漫画はその年にデビューした漫画家の漫画、連載が開始した漫画の中でもヒットしたものや漫画大賞に受賞された漫画などを中心に展示し、気になる漫画は試し読みをすることができます。

ファッションはその年に流行した服や小物、流行した服のあわせ方でコーディネートされたマネキンなどを鑑賞することができます。さらに流行色や男女別に流行ったものなどの解説もみることができます。

さらには現在でも生産、販売されているファッションや、ヒット商品などはロビーに設置されているショップで展示されていたものと同じものを購入することができます。

またスマートフォンの専用アプリケーションをダウンロードしておくと館内で専用機器と同期できて曲、映画、漫画などがスマートフォン内で購入する事もできます。



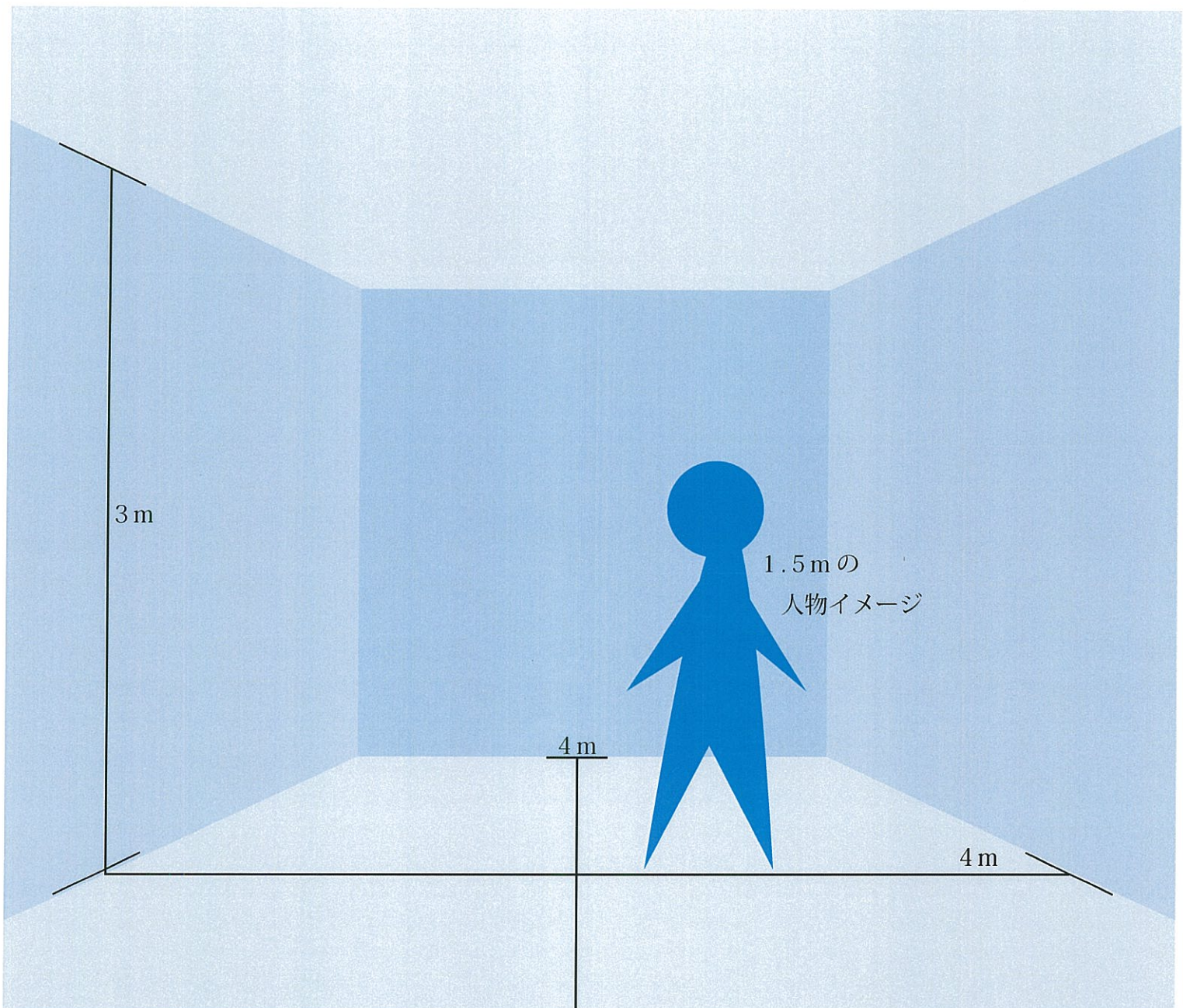
## 展示開催場所：21\_21 DESIGN SIGHT

東京都港区赤坂9-7-6東京ミッドタウン内(六本木駅)

今回開催場所を選んだ21\_21 DESIGN SIGHTはデザインのために作られた多種多様なデザインを常に企画し続けて展示しているミュージアムです。「デザインの記憶展」をこの場所で開催しようと思ったきっかけは、この21\_21 DESIGN SIGHTというデザインのためのミュージアムと今回の「デザインの記憶展」というデザインのためのアーカイブを融合させ、様々なデザインの中にある記憶を思い出してほしいという考えからです。

## 資料 常設展示の例

高さ3m、横幅4m、奥行き4mの箱形の展示ルームで、壁が一面液晶ディスプレイになっています。奥の一面の一部分だけタッチパネルになっていてそこで主な操作をします。



## 常設展の展示作品例：



アート参考

プロジェクションマッピング  
「花と人、コントロールでき  
ないけれども共に生きる、そ  
して永久に」 チームラボ



プロジェクションマッピング  
「TOKYO HIKARI VISION」  
株式会社ネイキッド



アート参考

クロード・モネ

「日傘を差す女」

ウィリアム・モリス「いちご泥棒」

ルネ・ラリック「菊に組紐文様」

アルネ・ヤコブセン

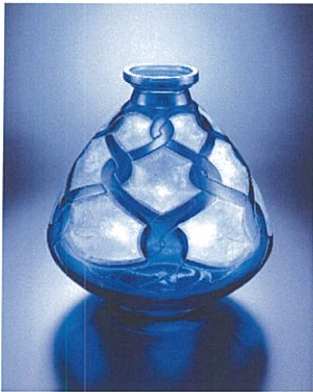
「アントチェア」

エクトール・ギマール

「パリのメトロ」

レンブラント・ファン・レイン

「夜警」



映画参考

「アリス・イン・ワンダーランド」「サマーウォーズ」

「ものすごくうるさくて、ありえないほど近い」

「言の葉の庭」「アバター」

「告白」「カラフル」「英国王のスピーチ」

音楽参考

宇多田ヒカル「Can You Keep A Secret?」

椎名林檎「能動的三分間」「閃光少女」

Perfume「ポリリズム」「レーザービーム」

赤い公園「今更」「絶対的な関係」



# 企画展の作品展示例：

2012年

アート プロジェクトマッピング「TOKYO HIKARI VISION」



映画 「レ・ミゼラブル」「テルマエ・ロマエ」

漫画 「ハイキュー」「暗殺教室」

ファッション イッセイミヤケ 2012 春夏 オーガンジー素材



デザイン (広告)

CM 30s 東京ディズニーリゾート CM Tokyo Disney Resort (アニメーション)

ヒット商品 スカイツリー

サントリー「オレンジーナ」

カルビー「ベジップス」

JINS「PC用メガネ」



プラス「フィットカットカーブ」

写真 石川直樹「Manaslu」



絵画 フェルメール「真珠の耳飾りの少女」



MAURITSHUIS

マウリツハイス美術館展  
東京都美術館 2012.6.30 SAT - 9.17 MON

